

各 位

上場会社名	東京貴宝株式会社
代表者	代表取締役社長 中川 千秋
(コード番号	7597)
問合せ先責任者	取締役経営統括副本部長 染 未良生
(TEL	03-3834-6261)

平成23年3月期第2四半期業績予想の修正 及び特別損失の発生に関するお知らせ

平成22年5月18日付、当社「平成22年3月期 決算短信(非連結)」において発表いたしました第2四半期累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の業績予想を下記の通り修正いたします。
また、下記の通り特別損失が発生しましたので合わせてお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,416	84	74	74	16.90
今回発表予想(B)	3,441	122	72	41	9.47
増減額(B-A)	24	37	△1	△32	
増減率(%)	0.7	44.0	△2.6	△43.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	3,785	85	55	38	8.62

修正の理由

平成23年3月期第2四半期累計期間の宝飾業界は、依然として消費マインドが回復せず、厳しい状況が続いております。当社におきましては、そうした状況を踏まえつつ効率の良い営業活動を展開した結果、売上高については、ほぼ当初予想通りの実績を残すことが出来ました。また、販売経費等の経費削減が大きく寄与し、営業利益については当初予想を大きく上回り大幅な改善に至りました。

しかしながら、経常利益については円高に伴う為替差損の発生などにより、当初予想を僅かながら下回るほか、四半期純利益については、固定資産除却損(17百万円)、訴訟損失引当金繰入額(11百万円)が発生し、当初予想を大きく下回ることとなりました。

なお、通期の業績予想につきましては、第3四半期以降はほぼ計画通りに推移するものと考えており、当初予想の変更はありません。

● 特別損失の発生について

遊休資産の活用を図る為、老朽化した建物を除却処理し、取り壊し等の費用を計上した結果、固定資産除却損(17百万円)が発生いたしました。また、控訴中の案件について引当金の積み増しが必要となり訴訟損失引当金繰入額(11百万円)が発生いたしました。

※ 上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以 上